

フードドライブは寄贈者の助けにも 町 × 社協で取り組むフードドライブ



受付期間 令和3年10月18日～10月29日

受付窓口 横瀬町健康づくり課・横瀬町社会福祉協議会

参加のきっかけ

県からキャンペーンへの呼び掛けがあった時、生活困窮者支援の担当者と児童福祉の担当者の間では「こんな取組ができたらいいね」と話していました。

時を同じくして住民から「家で余っている食品を受け付けてくれる窓口が近くにあれば良い」という要望が寄せられ、フードドライブ実施の追い風となりました。

県のキャンペーンということで、参加に当たっての内部調整もスムーズに進んだと思います。

役割分担や工夫

公民館での受付なども検討しましたが、初めての取組なので、まずは健康づくり課と社会福祉協議会の2つの窓口でスタートすることとしました。

集まった食品の提供に関する調整は社会福祉協議会に動いてもらうことが多く、これからも連携して取り組んでいきたいと思います。

寄付していただく食品は、お米や贈答品の余りと思われる調味料や海苔、乾麺などが多いように感じました。

食品を寄贈した方から「食品を寄付できるのはうちも助かるよ」と言っていただいたこともあり、フードドライブはもらう側だけでなく、皆にとって良い取組だと感じました。

課題や今後について

フードドライブを実施することの負担は特に感じていませんが、集まった食品の賞味期限管理や保管場所の確保が、取組を継続する上で課題になってくると感じます。

もし来年度もキャンペーンが実施されるようなら、継続して参加したいと思います。

まずは机から フードドライブを職員の身近な取組に



受付期間 令和3年11月8日～11月12日

受付窓口 三芳町環境課

参加のきっかけ

現状として、周辺自治体の多くがフードドライブを実施しており、三芳町としても「やらなければ」と思っていました。三芳町は子ども食堂の活動が盛んなので、フードドライブで集まった食品を提供できれば子ども食堂の支援にもつながります。

いつやるかを考えていた時に、県からフードドライブキャンペーンの呼び掛けがあり、「まずはやってみよう」ということで参加することとしました。

役割分担や工夫

初めての取組なので、数値目標などは設定せず、課題があれば改善しながらやってみるということでスタートしました。食品の受付窓口は環境課が行い、集まった食品の配布は福祉課で行います。

ホームページやチラシなどで住民にも提供を呼び掛けましたが、まずは職員に集中的に呼び掛けました。「机の引き出しに眠っているお菓子をお持ちください」と案内したので、お菓子の集まりが良いように感じます。

庁舎内にフードドライブののぼり旗を設置したことで、来庁する住民にも「フードドライブをやっている」とPRできたと思います。

課題や今後について

始めてみて、それほど頻繁に窓口を持って来る人がいるわけではないので、負担は特に感じていません。庁舎も比較的広く使えているので、集まった食品の保管場所にも課題はありません。「とりあえずやってみよう」ということで取組をスタートさせましたが、特に大きな問題なく実施できていると思います。

今回集まった食品は、福祉課を通じて町内の福祉団体等へ寄贈します。